

校長授業 ~ 卒業を前に ~

1月25日(月)、6年生の児童と一緒に学級活動の授業を行いました。卒業を前にして、今後の成長の糧にしてもらうものを少しでも贈ることができたらいいなという願いを込めて、以下、その概略をお伝えします。

まず、友だちを大切にしてほしい。人とのつきあい方について学んでほしいと思います。

人と関係を築いて行く上では、相手意識が大切になります。相手の立場を考慮することができる人になってほしいと思います。そのためには、学校生活に積極的に取り組み、さまざまな経験をしてください。学習はもちろんですが、部活動、学校行事。経験を通すことで、その立場に立つてみることで初めて分かることがあるからです。

(その他にも「夢の話」や「これから待ち受けているだろう社会」「学習することの大切さ」などいろいろな話をしたのですが、紙面の都合で全部は紹介できませんので、その中のひとつ「もの見方」について、以下、少しお伝えしたいと思います。)

去年のお正月に話題になったもので、新聞やテレビなどで見たことがある人もいるかもしれませんが。(ビデオ:そごう・西部 WEB広告視聴)



「大逆転は、起こりうる。わたしは、その言葉を信じない。どうせ奇跡なんて起こらない。

それでも人々は無責任に言うだろう。小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。

誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。今こそ自分を貫くときだ。

しかし、そんな考え方は馬鹿げている。勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。

わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。

土俵際、もはや絶体絶命。」

「さ、ひっくり返そう。」

「土俵際、もはや絶体絶命。わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。

勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。しかし、そんな考え方は馬鹿げている。

今こそ自分を貫くときだ。誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。

小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。それでも人々は無責任に言うだろう。

どうせ奇跡なんて起こらない。わたしは、その言葉を信じない。

大逆転は、起こりうる。」

「さ、ひっくり返そう」ということばどおり、最初の文の並びを逆に読み進めていくと、全く違った意味になります。これは、次の2つのことを表していると思います。

『あきらめてしまえば、そこでおしまい。なんにも変わらない。』しかし、

『あきらめなければ、大逆転を起こすことができる。』と。

この、言葉を換えれば、『あきらめない限り、失敗はない』ということは、昔から多くの人が言ってきたことです。

一瞬、一瞬を大切に、小学校生活で残された時間。新しく始まる中学校生活での時間。最後まであきらめしないで、悔いがないように過ごしてください。」

佐世保市学校再編基本方針

4 愛宕中学校区について

(1) 各学校の現状及び児童生徒数の将来推計

現状（令和元年5月1日）

小・中学校	船越小	赤崎小	愛宕中
児童生徒数 <small>（令和元年5月1日）</small>	125名	338名	248名
学級数 <small>（特別支援学級を含む）</small>	6（9）学級	13（15）学級	8（11）学級
建築年数	57年	54年	53年
校舎延床面積 <small>（施設台帳より）</small>	2,218㎡	4,090㎡	4,489㎡
運動場面積	約3,800㎡	約6,900㎡	約15,000㎡
敷地面積	約6,600㎡	約13,600㎡	約27,000㎡
地区自治協議会区域	九十九	愛宕	九十九・愛宕

愛宕中学校区の児童・生徒数の推移

再編しない場合			再編した場合		
学校名	令和元年 <small>（5月1日現在）</small>	約20年後 <small>（2040年推計値）</small>	学校名	令和元年 <small>（5月1日現在）</small>	約20年後 <small>（2040年推計値）</small>
船越小	125名	約80名	船越 赤崎 愛宕 義務教育 学校	711名	約480名
赤崎小	338名	約250名			
愛宕中	248名	約150名			

(2) 学校再編案について

目的	船越小と愛宕中の小規模化を解消し、かつ、9年間を見通した小中一貫教育の導入によって、さらに児童生徒の個性や能力を伸ばす教育の充実を図ること 船越小と赤崎小と愛宕中の施設老朽化問題の解消	
再編案	船越小と赤崎小と愛宕中を統合し、義務教育学校とします。（統合後の場所は愛宕中） （理由：船越小と赤崎小の統合により、望ましい規模の学校となりますが、愛宕中は小規模校のままとなります。そこで、3校を施設一体型の義務教育学校とすることで、学校全体として一定の集団規模を確保しつつ、児童生徒の個性や能力を育成したいと考えます。場所の選定理由は、愛宕中の敷地が広いからです。）	
期待できる教育効果	全学年でクラス替えが可能な規模の義務教育学校となります。 義務教育学校という一つの学校組織及び施設一体型となることで、9年間を見通した特色ある教育活動を、緊密に連携しながら行うことができます。 統合校の校舎を愛宕中の敷地に整備することで、より安全で整備された学校に通うことができます。	
留意点	現船越小・赤崎小校区の児童で、通学距離が長くなる児童が出てくる可能性があります。 統合校の校区が愛宕地区と九十九地区の自治協議会区域に分かれる形となります。	
	対応策	現在、船越小・愛宕中で運行中のスクールバスの範囲拡張について検討します。

(3) 協議の視点

学校小規模化対策のため、「船越小と赤崎小と愛宕中を義務教育学校に統合」することについて

次回、「佐世保市学校再編基本方針」についての今後の日程等についてお伝えしたいと思います。